

『アンネの日記』の著者 アンネ・フランクさんについて



<https://www.gettyimages.co.jp>

アンネ・フランク
(ドイツ語: Anne Frank)

アンネリース・マリー・フランク

1929年6月12日 - 1945年3月12日

ユダヤ系ドイツ人の少女です。

『アンネの日記』の著者として知られています。

ホロコースト犠牲者です。

オランダのアムステルダムへ亡命

1929年にドイツ国のフランクフルト・アム・マインで生まれましたが、反ユダヤ主義を掲げる国家社会主義ドイツ労働者党(ナチス)の政権掌握後、迫害から逃れるため、一家で故国ドイツを離れてオランダのアムステルダムへ亡命しました。

第二次世界大戦中のユダヤ人狩り

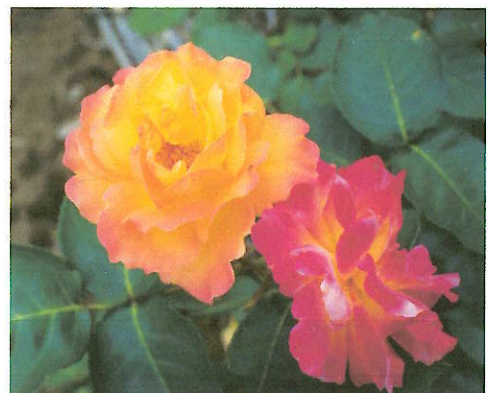
しかし第二次世界大戦中にオランダがドイツ軍に占領されると、オランダでもユダヤ人狩りが行われ、1942年7月6日から隠れ家での生活に入ることを余儀なくされました。フランク一家の他にヘルマン・ファン・ペルス一家やフリッツ・プフェファーもこの隠れ家に入って、計8人のユダヤ人が隠れ家で暮らしました。ここでの生活は2年間に及び、その間、アンネは隠れ家でのことを日記に書き続けました。

強制収容所へ移送後、命を落とす

1944年8月4日にナチス親衛隊に隠れ家を発見され、隠れ家住人は全員が強制収容所へと移送されました。アンネは姉のマルゴット・フランクとともにドイツのベルゲン・ベルゼン強制収容所へ移送されました。同収容所の不衛生な環境に耐え抜くことはできず、発疹チフスを罹患して15歳にしてその命を落としました。1945年3月上旬ごろのことと見られています。

残されたアンネの日記

隠れ家には、アンネがオランダ語でつけていた日記が残されていました。父・オットーの会社の社員で隠れ家住人の生活を支援していたミープ・ヒースがこれを発見し、戦後まで保存しました。8人の隠れ家住人の中でただ一人戦後まで生き延びたオットーはミープからこの日記を手渡されました。オットーは娘・アンネの戦争と差別のない世界になってほしいという思いを全世界に伝えるため、日記の出版を決意しました。この日記は60以上の言語に翻訳され、2500万部を超える世界的ベストセラーになりました。



<https://www.photo-ac.com/>

アンネ・フランク



にこいそ

<幼い頃のアンネ>

- ・ 生まれ ... 1929年6月12日 / ドイツのフランクフルト
- ・ 家族 ... 父オットー / 母エーディット / 姉マルゴット
(当時の状況)

勢いを伸ばしていたアドルフ・ヒトラーがユダヤ人を憎んでおり、ドイツの問題をユダヤ人に押しつけていた。

ドイツの不景気とユダヤ人に対する対応がアンネの両親の移住を決定させる。

- ・ 1939年9月1日 第二次世界大戦 がはじまる
→ ユダヤ人の生活を困難にする条例が導入される。
ユダヤ人への迫害が進む

- ・ 1942年 春

かくれ家への移住 ... ナチスの迫害から逃れるため、怯えながら生活していた。

- ・ 1944年 8月4日 かくれ家が見つかる → 逮捕

<ベルゲン・ベルゼンでの死>

= 11月 ベルゲン・ベルゼン収容所に連行
→ 食料はほとんどなし、気温はとても寒い

- ・ 1945年 2月 アンネが亡くなる。(15才)

アンネのバラ委員会

アンネの薔薇委員会

アンネのバラ委員会では、アンネのバラを育てようと思っています。なぜかというとなんねのバラを和田中学校で育てて、アンネのバラについて知、て欲、いからです。

- ・ アンネのバラとは
アンネ・フランクという、アンネの日記を書いた子の願いを込めたバラです。
- ・ アンネのバラに込められている願い
アンネ・フランクさんの「私は世界と人類のために働きます」ということと、戦争がもうおきませんようにという平和への願いです。

